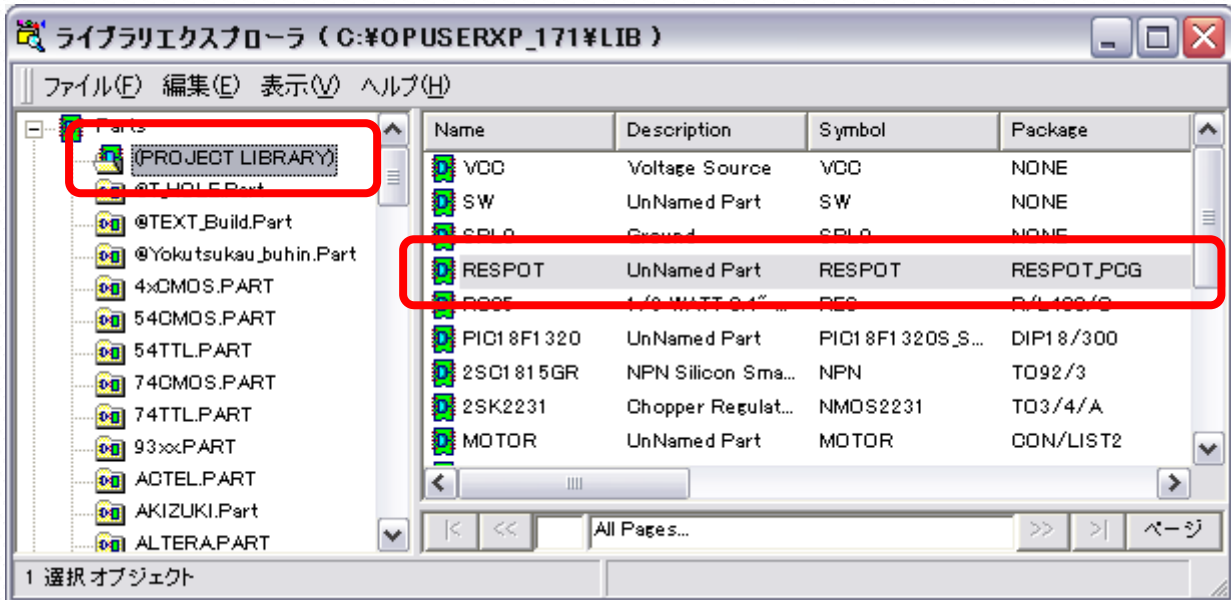


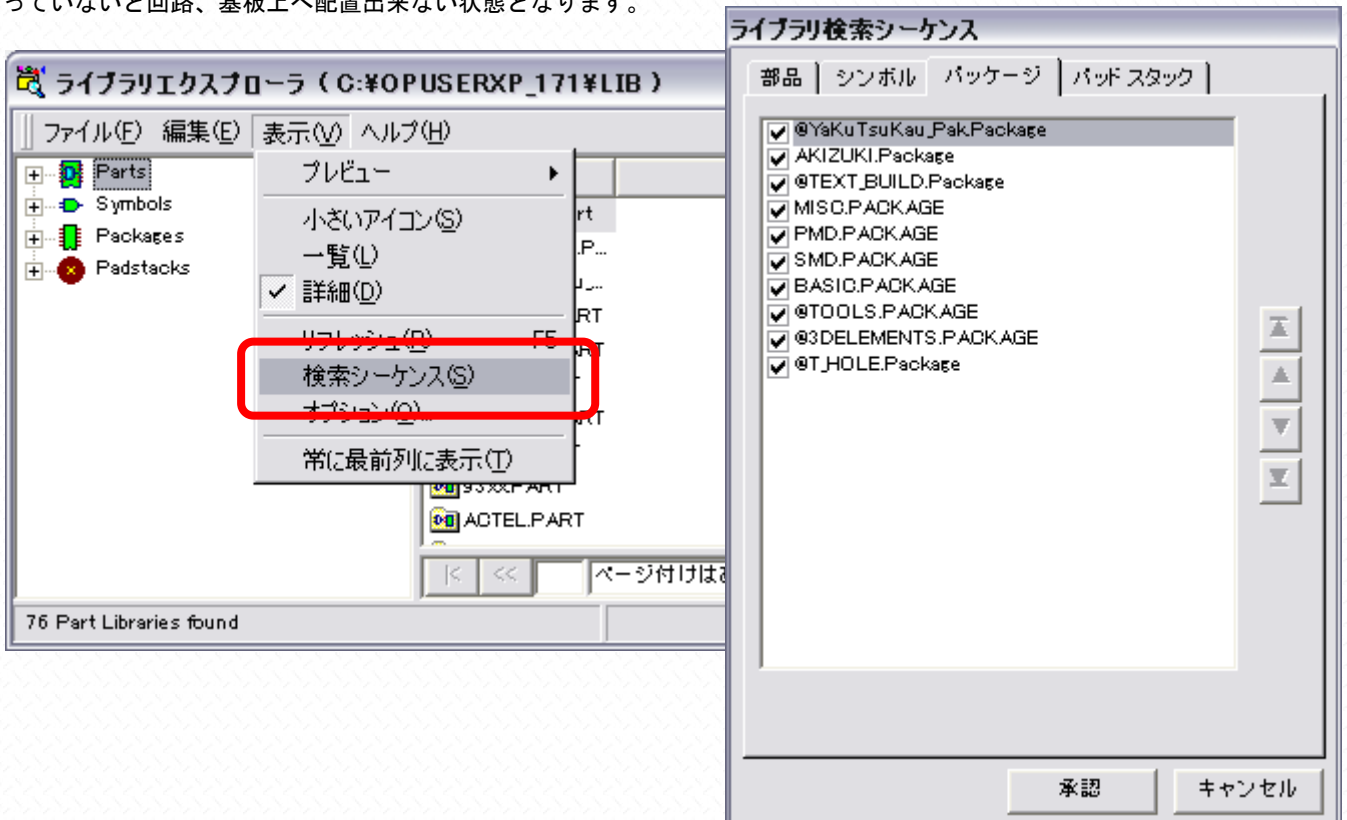
# I. ライブラリを編集する前に

OPUSER では、プロジェクトで使用した部品を纏めて管理する為、使用された部品を“プロジェクトライブラリ”へ登録しています。同じプロジェクトにて、1度使用された部品（回路、基板上へ配置された部品）は、次回以降“プロジェクトライブラリ”から参照されます。ここから、1度使用した部品はプロジェクトライブラリから変更しないと、現在のプロジェクトで使用されている部品は変更できません。右クリックで“部品編集”を選択します。

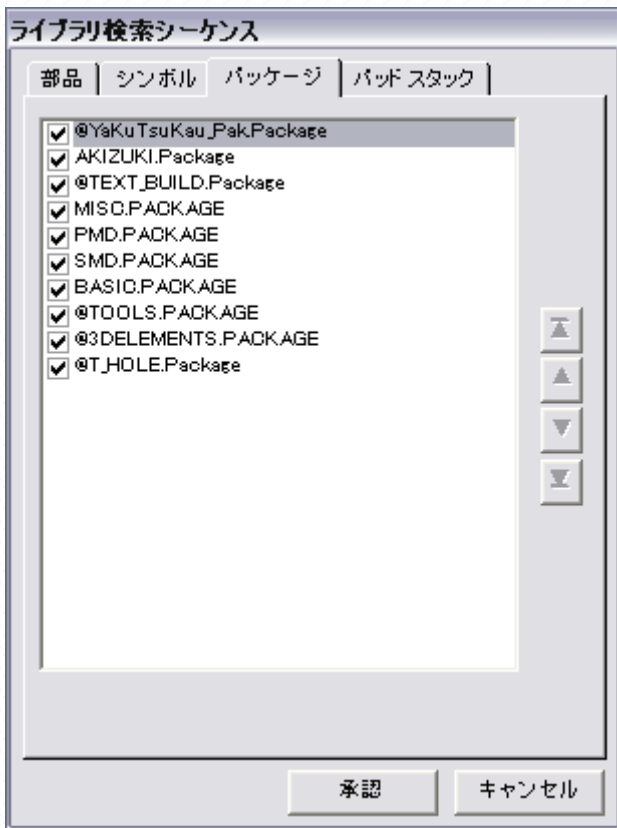


そのほか、インストール時に作成されたライブラリには、上書き出来なくなっている為、変更/作成した部品は新規ライブラリへ登録する必要があります。

新規ライブラリを登録した場合は、ライブラリ検索シーケンスにてチェックが入っているか確認して下さい。チェックが入っていないと回路、基板上へ配置出来ない状態となります。



同名のパーツ、シンボル、パッケージが複数のライブラリに登録されている場合は、上位に位置するライブラリから参照する事になります。編集／作成したシンボル、パッケージを既存のものと合わせ、上位へ登録する事で、同じシンボル、パッケージを使用した部品の内容を一斉に変更する事が可能です。



このマニュアルではライブラリ登録方法のみを示しています。個別の編集に関しては別マニュアルを参照して下さい。

## 1.0 : 新たにシンボルを作成、既存の部品のシンボルを変更

新規シンボルを作成して“RES”として登録、同名のシンボルを使用している部品の内容を一斉に変更します。

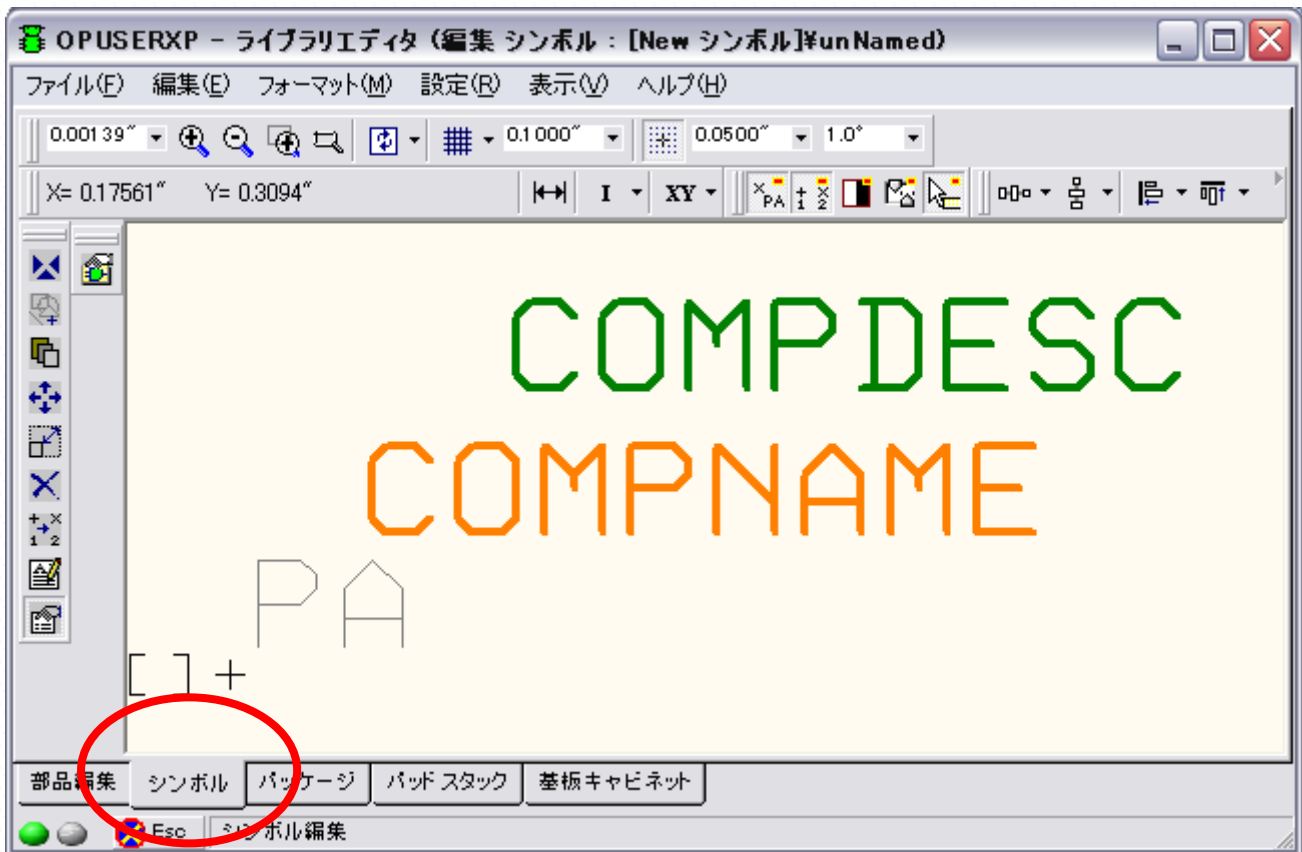
下図のプレビュー画面からシンボルは“RES”、パッケージは“R/L400”を使用している事がわかります。



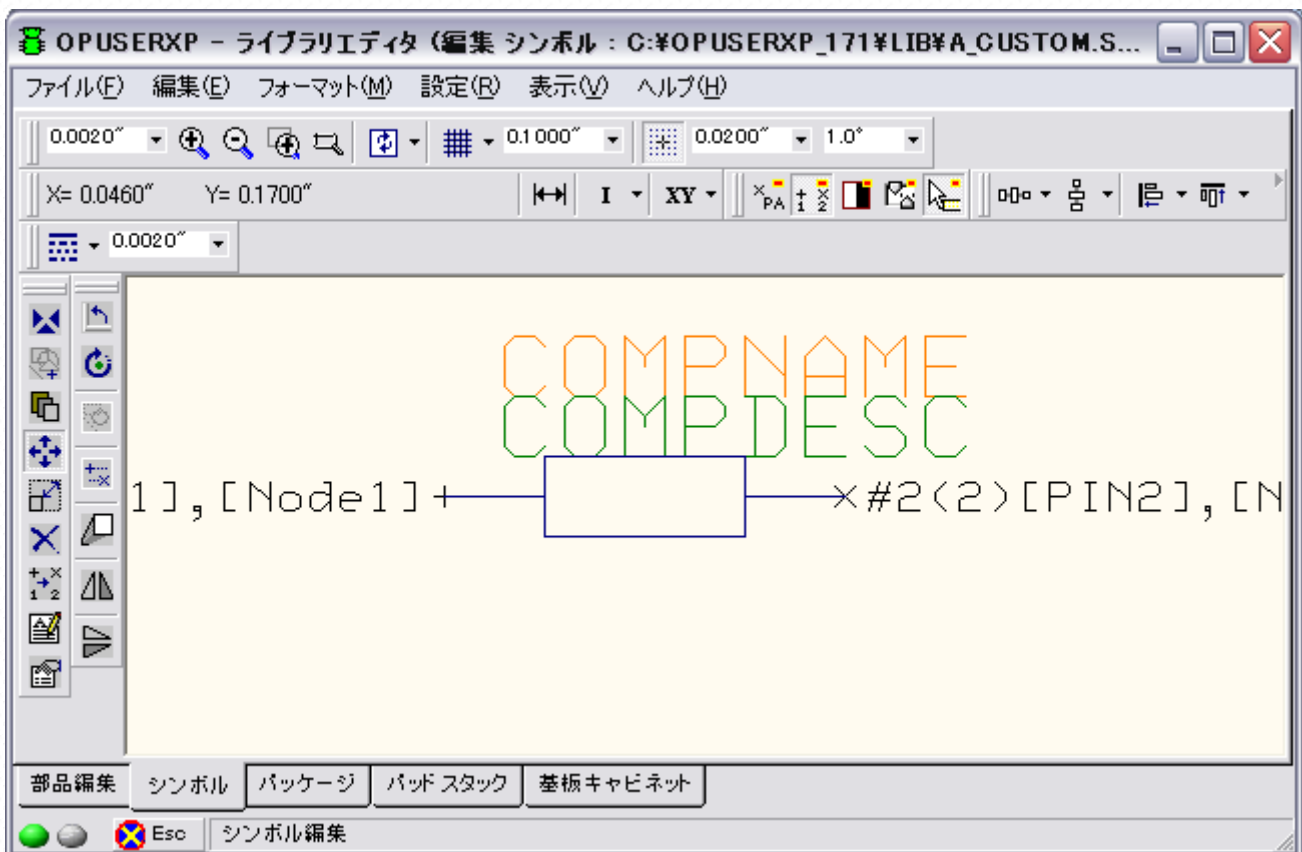
ライブラリの上で右クリックし、ライブラリエディタを起動



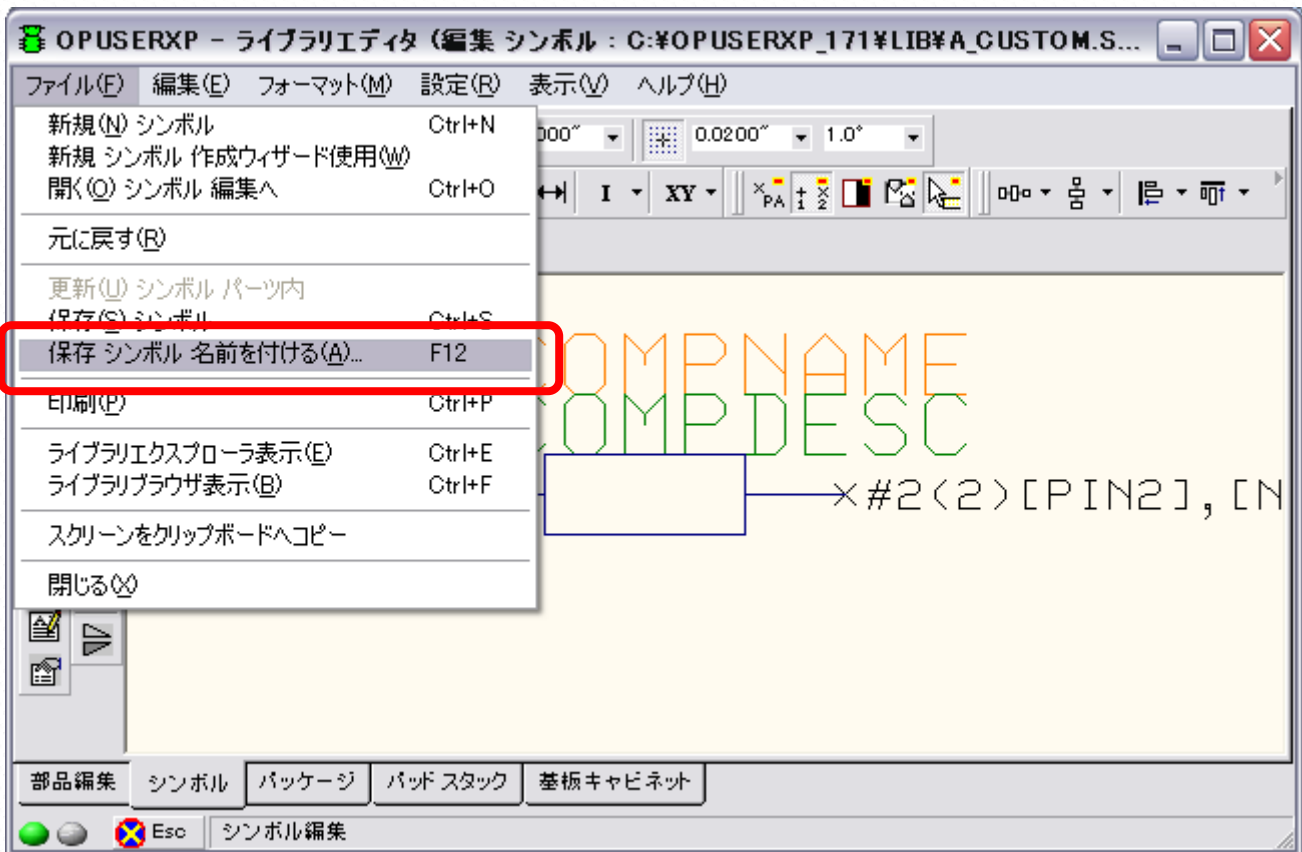
シンボルタブをクリックします



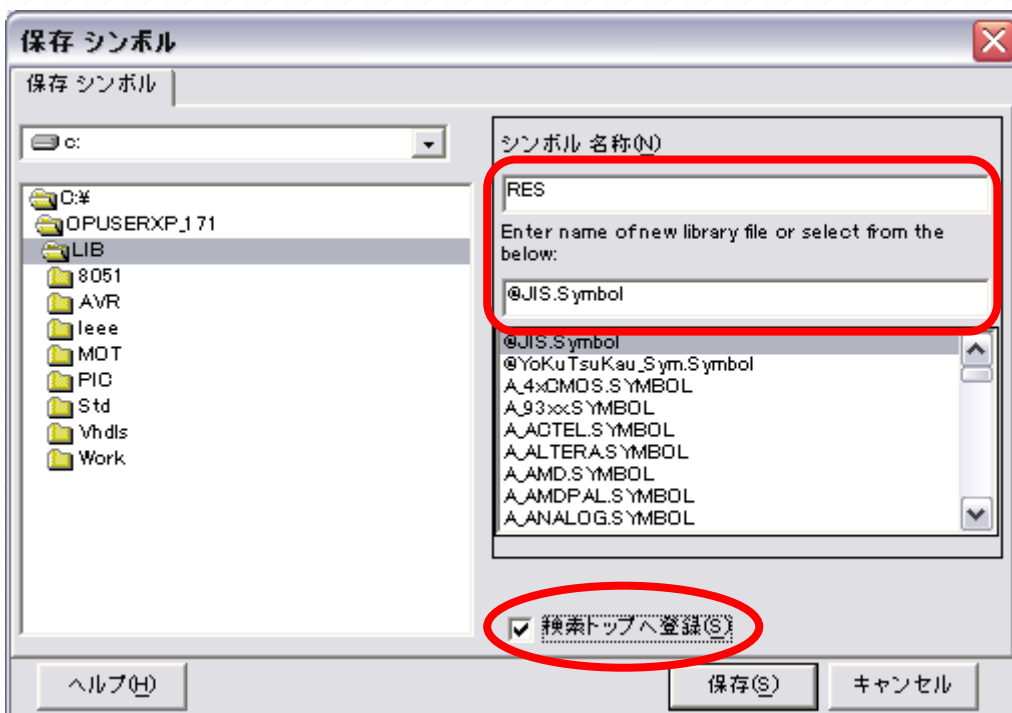
目的の形状へ編集



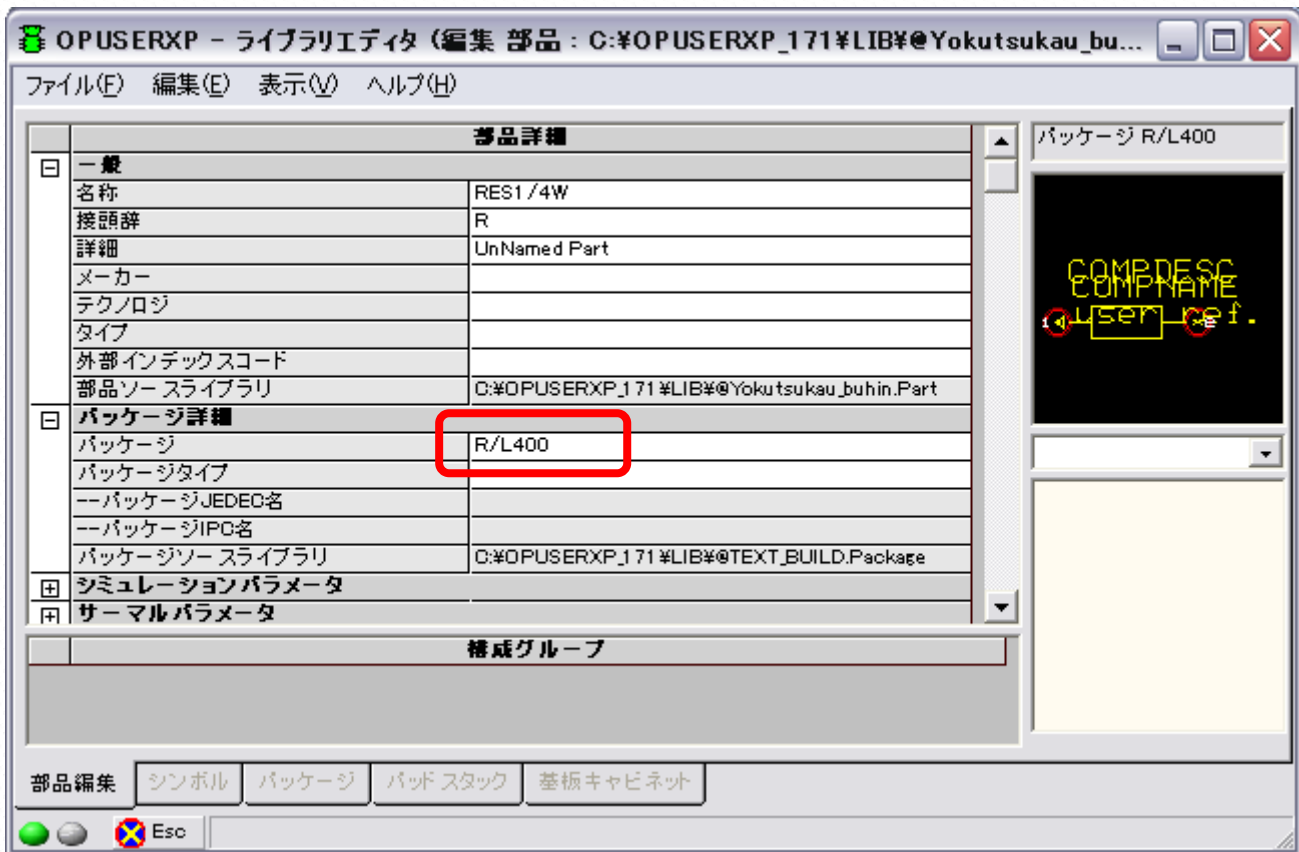
“ファイル／保存シンボル名前を付ける”を選択



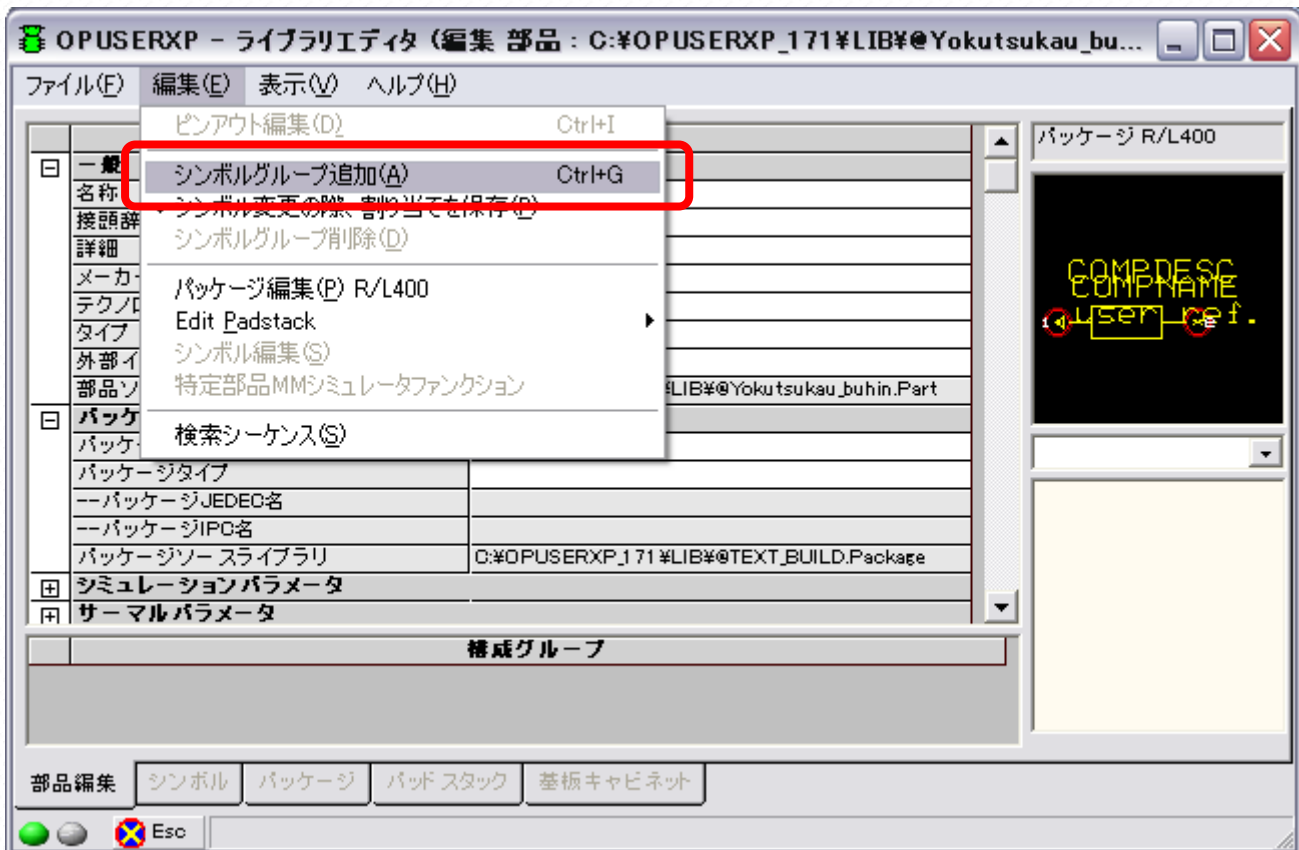
シンボル名称は“RES”と入力、新規ライブラリの名称を入力“検索トップへ登録”にチェックを入れ、保存します。(名称は半角英数で入力してください)



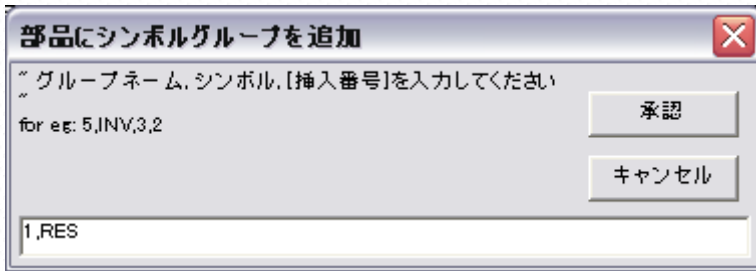
名称、接頭辞を入力、パッケージの欄には“R/L400”と入力します。



“編集／シンボルグループ追加” を選択

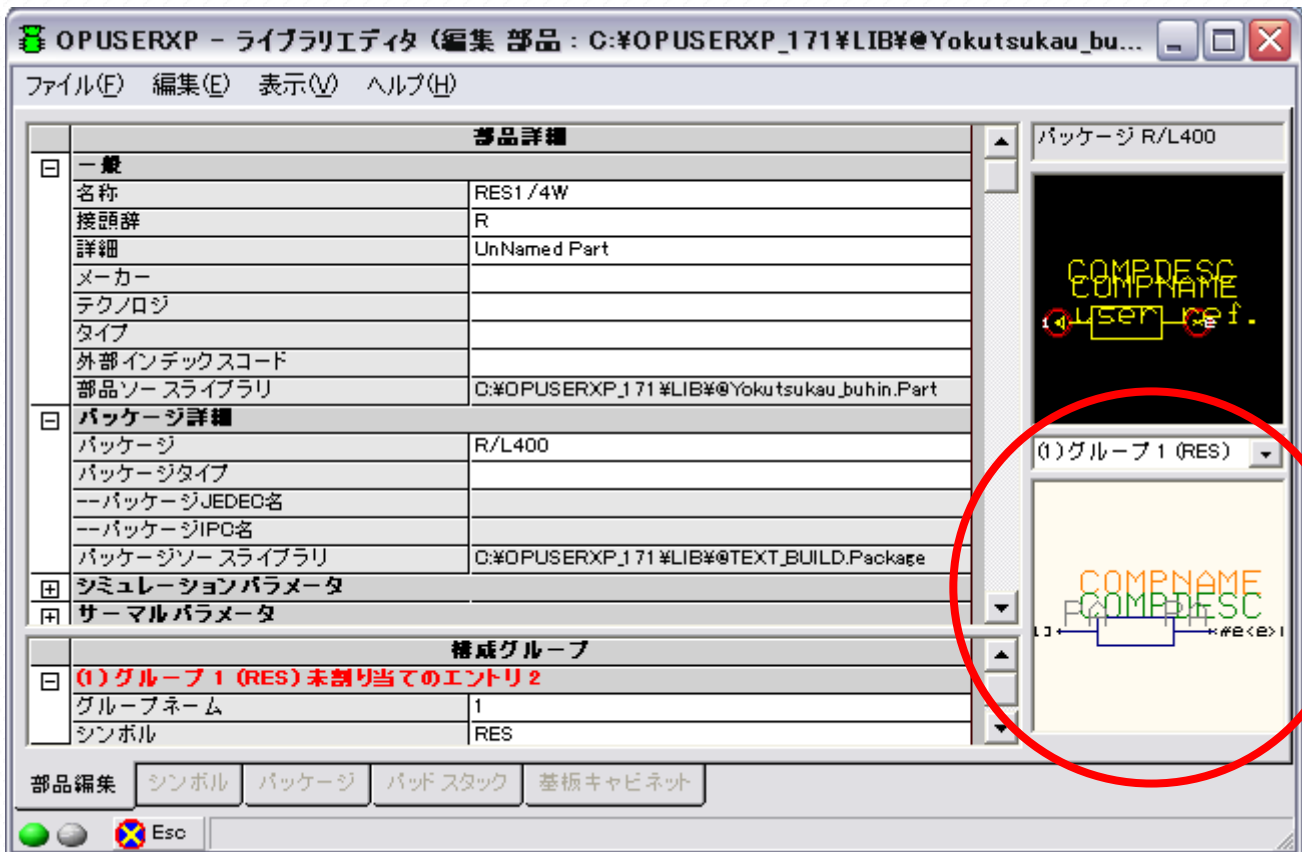


“1,RES” と入力し “承認” をクリック

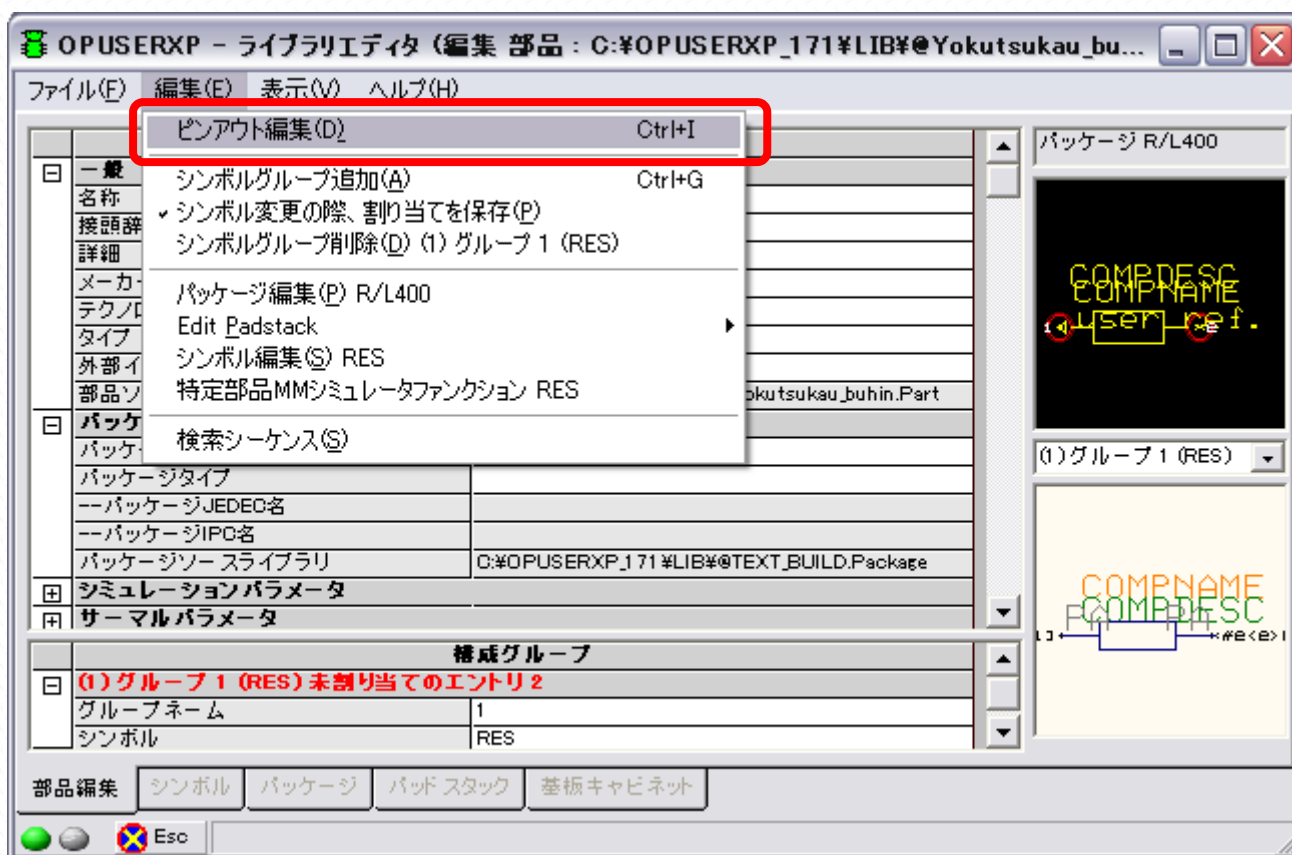


シンボルが読み込まれます。

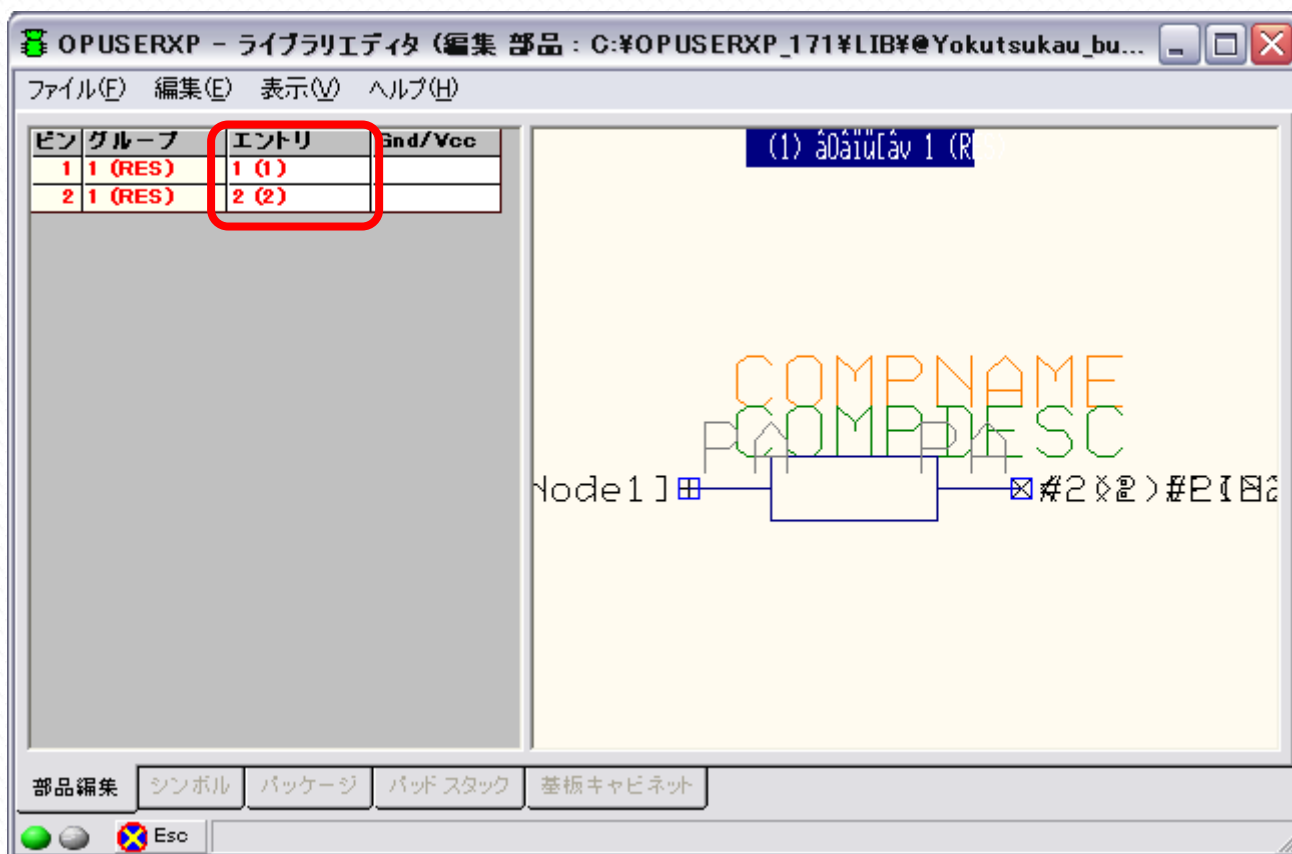
(ライブラリエクスプローラからシンボルを図の箇所へドラッグ、ドロップする事でも同様の作業が可能です)



“編集／ピンアウト編集” を選択



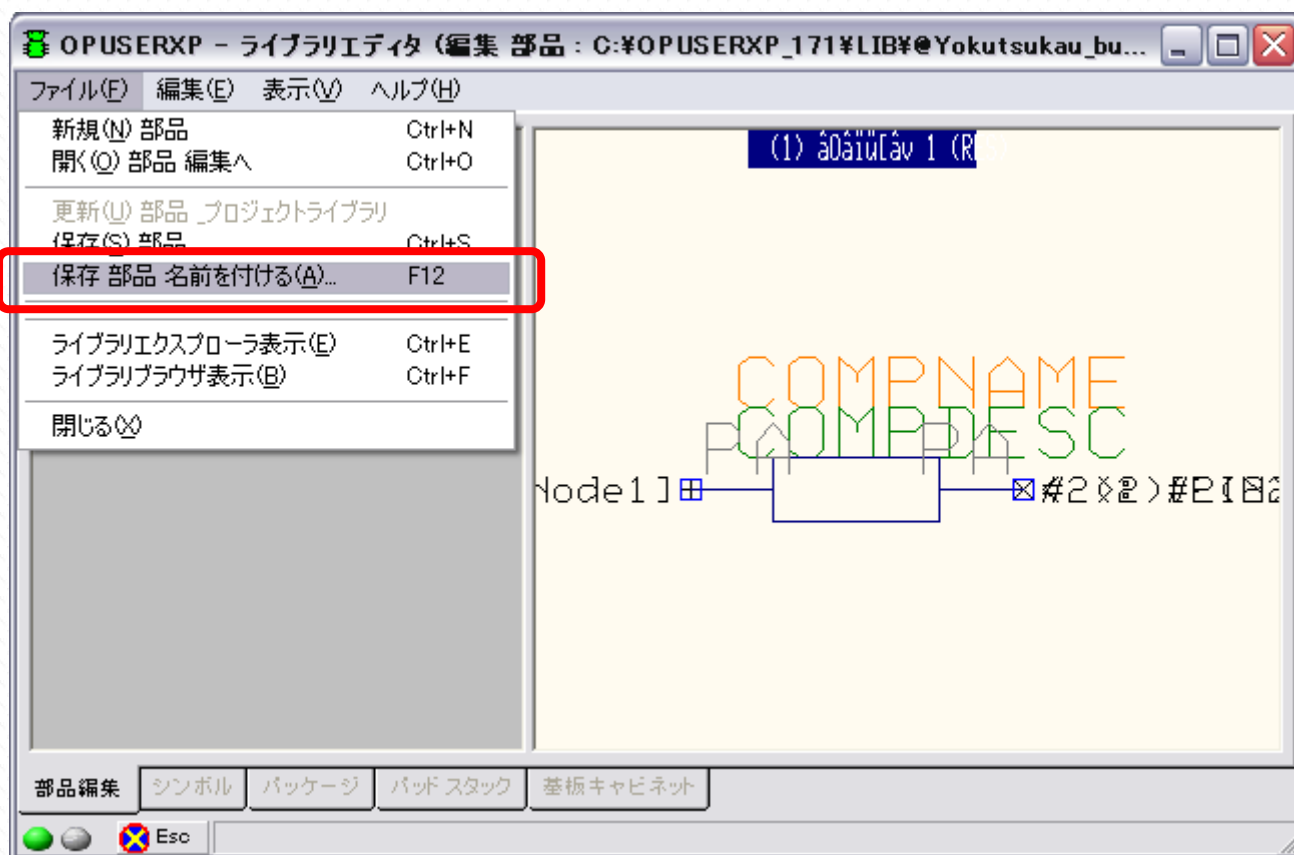
エントリにシンボルのピンナンバーを入力して、シンボルとパッケージのピンの関連付けを行います。



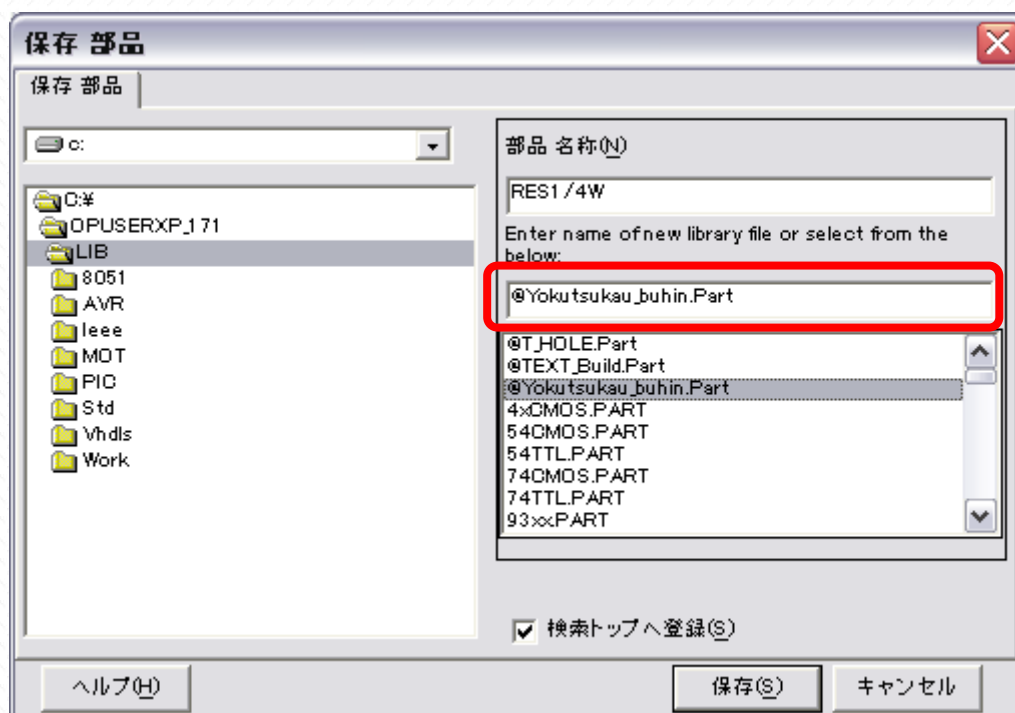


“ファイル／保存部品名前を付ける”を選択、

(設定画面へ戻るには“編集／部品詳細へ戻る”をクリックします)



ライブラリ名称を入力して保存します (入力は半角英数で行って下さい)



## 2.0 : 使用中の部品を修正する

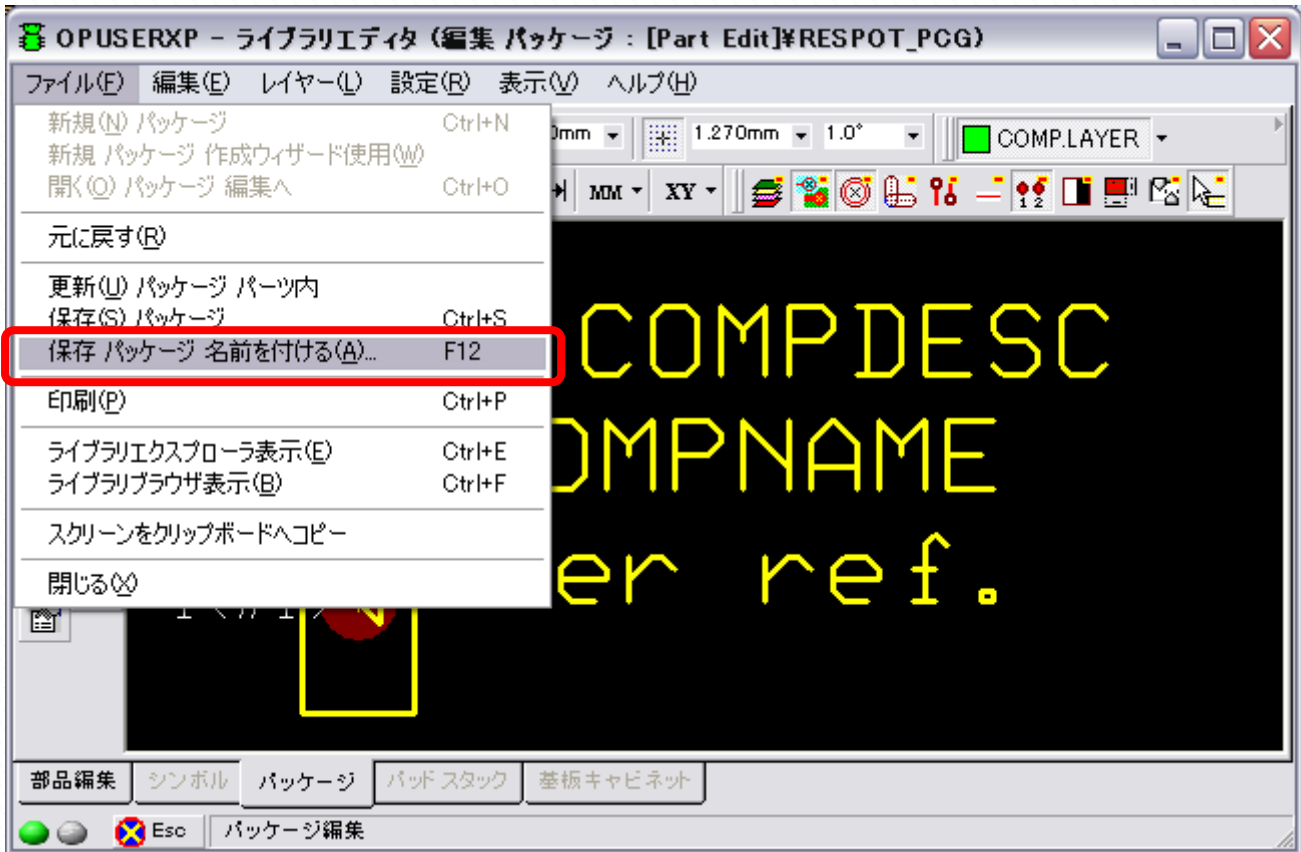
目的の部品の上で右クリック“部品編集”を選択します。



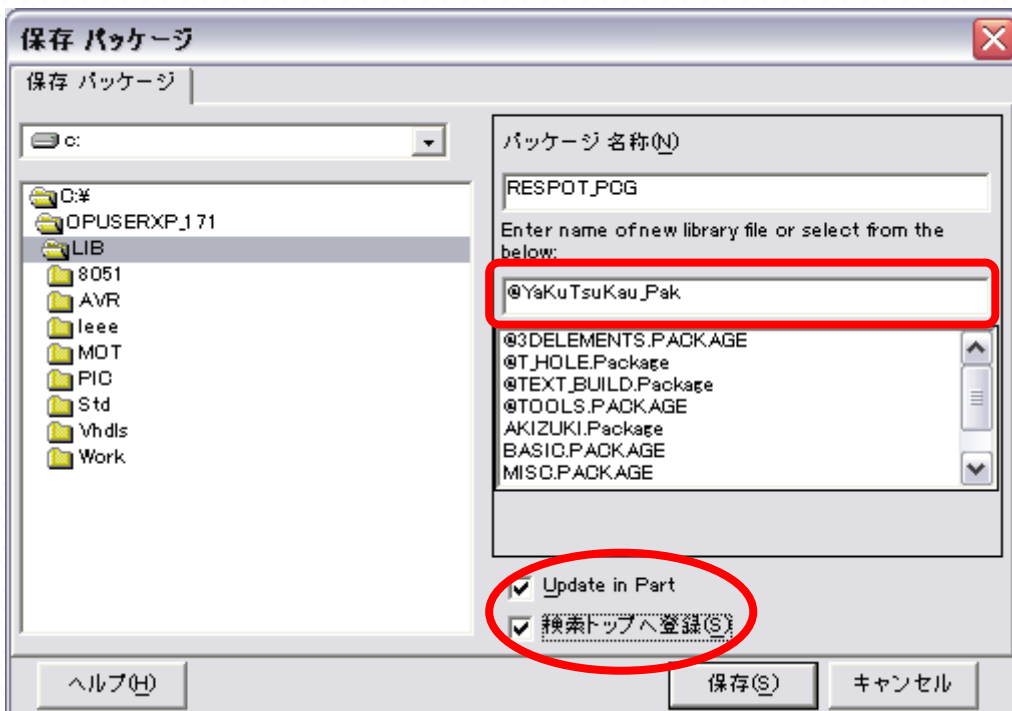
“部品編集”を選択すると、ライブラリエディタが選択した部品を読み込んだ状態で起動されます。ここから、メニュー“編集”でパッケージを編集するのか、シンボルを編集するのかを選択します。



シンボルもしくはパッケージ編集が終了したら、ファイル“保存～名前を付ける”を選択します。インストール時に作成されたライブラリには上書き保存出来ない為ですが、常に保存のときは名前を付けて保存で構いません。



1度使った部品を更新する場合は、シンボル/パッケージ名称はそのまま、ライブラリ名称を入力し、「Update in parts」「検索トップへ登録」にチェックをいれます。(入力は半角英数で行って下さい) 保存をクリックします。



シンボル、もしくはパッケージの変更が終了したら、“部品編集”タブをクリックして編集画面を移動します。

再度、シンボル、パッケージ編集画面へ移動する場合は、メニュー“編集”から移動して下さい。



同じく“ファイル/保存部品名前を付ける”を選択、



同様に設定を行い保存します。

